県建造物解体業連 安全大会

労働災害の絶滅を

県建造物解体業連合会（江藤正幸会長）の第3回安全大会は9日、鹿児島市のベイサイドガーデンで開き、労働災害の絶滅や無事故無災害で今年1年を乗り切っていくことを誓い合った。

大会に先立ち、同市の護国神社で安全祈願祭を執り行い、会員ら約80人がそれぞれの職場の安全、安泰を祈願した。

災害撲滅、安全第一を――と呼びかける江藤会長＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

安全大会では、江藤会長が「厳しい経営環境であるが、労災防止が何よりも重要。少しの気の緩み、油断が重大災害を引き起こします。予期せぬ事故が発生することを念頭に置いて…ほしい」と挨拶。

安全大会スローガンの表彰に引き続いて、来賓の富田洵鹿児島労働基準監督署長（代読－稲富昭弘次長）、内匠金利鹿児島中央警察署交通課長が「気を許すことなく安全意識の高揚に努めてほしい」「飲酒運転は厳禁。飲んだら絶対運転しないように徹底を」と呼びかけた。このあと、建災防県支部の八木純一郎事務局長が鹿児島県における建設業の労働災害発生状況について講話を行い、参加者らは真剣な表情で聴き入っていた。

安全大会スローガン表彰は次の通り。

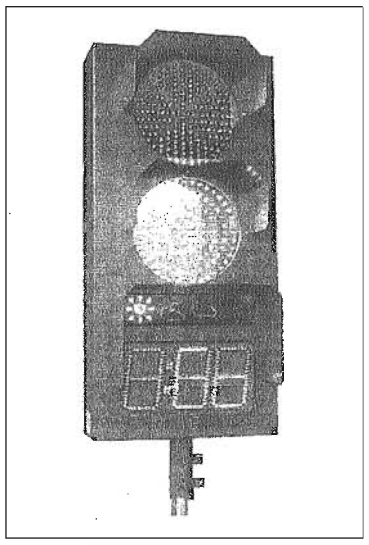
優秀賞＝今村久代（㈱今村清建設）▽準優秀賞＝木村正治（㈱フタマタ技建）

現場のイメージアップに

㈱ワイズ（本社・長野県飯山市）はこのほど、気圧変化を測定することで8時間後の天気を予測表示できる、天気予報表示ソーラータイプ工事用信号機「YCB480S」＝**写真**＝を開発し販売を開始した。

同機はこれまで、赤／青表示と待ち時間だけだった工事信号機に、天気予想表示をつけることで、工事現場のイメージアップとドライバーのイライラ解消に効果があるという観点で開発された。また、ソーラータイプながら超高輝度LEDを採用したことで、昼間でも十分な明るさを確保している。

このほか、5時間充電すれば50時間稼働のソーラー…



来年度から電子入札実施で

電子署名規則を制定

国交省

国土交通省はこのほど、職員が職務上作成した電磁的記録が真正かを認証する電子署名の在り方を定めた「国土交通省電子署名規則」を制定した。

電子署名は、紙の場合の「公印」に相当し、認証システムで、電子文書が本当に本人が作成したのか、改ざんされていないかを確認するもの。

今回の規則は、15年度から全直轄工事で電子入札を導入することに伴い、電子署名対象を事務所長レベルまで拡大することや、14年度末までに所管手続きの申請・届出のオンライン化実施数が大幅に増加することなどに対応するため制定。

電子署名の定義や規格、官製証明書の要件、管理の在り方などを規定しており、このうち、電子署名の規格では、電子署名法に基づく認証業務の基準と同等とし、政府の認証基盤が作成した官職署名符号を用いるとした。

賀詞交換・交歓会

総会までに新ビジョン決定

建コン協

挨拶する渡辺会長

建設コンサルタンツ協会（建コン協、渡辺重幸会長）と建設コンサルタンツ厚生年金基金（清野茂次理事長）は8日、東京都港区の虎ノ門パストラルで新年賀詞交換会を開いた。渡辺会長は挨拶の中で、協会設立40周年を迎えるのを機に現在策定作業を進めている新ビジョンについて「15年度総会までに完成させたい」と述べた。

新ビジョンは、平成元年の「建設コンサルタント中長期ビジョン－ATI構想」に代わる新たなビジョンとして策定するもの。昨年、特別委員会（大島一哉委員長）を設置して検討を進めている。

渡辺会長は、「厳しい中でコンサルタント業務の発注額は下がっているが、大きな破綻は少なく、会員は少しずつ増えてきている」とした上で、今後「社会資本整備に当たっては、一層の長期的視点やライフサイクルコストの観点から、後世の方々に感謝されるようにしていかなければならない」と語った。

来賓の大石久和国土交通省技監は、「現在の不況は需要不足によるデフレであり、大きな需要を生み出していくべきではないか。そうした問いかけを国民にしていただきたい」と述べ、公共投資の実態を示す数字が知られていないことを訴えた。

分離発注推進等活動の中心に

電設協

挨拶する平井会長

日本電設工業協会（電設協、平井貞雄会長）は8日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで新年賀詞交歓会を開いた。平井会長は、分離発注の推進とPFIの研究、電子化への対応を活動の中心に据えて、協会運営に臨んでいく考えを明らかにした。

平井会長は、「景気はますます悪くなり、受注利益の確保は限界にきている」と取り巻く環境の厳しさを強調。従来から電設協が力を注いできた分離発注については、「施主の利益に最もかなうものである」と強力に推進していく姿勢を見せた。また、昨年、英国に調査団を派遣したPFIに関しては、「設備部門が参画しやすいような制度を国土交通省をはじめ、各機関に要望していく」方針。さらに、「IT化は協会活動の活性化に欠かせない」と話した。

今後の協会運営について、平井会長は「合理化、効率化により、会員に信頼してもらえる協会にしていく」と語り、「電気は将来にわたって、基幹的なエネルギーであり、リニューアル分野など新たなビジネスチャンスも広がっている。明るい未来に向かって着実に進んでいこう」と呼びかけた。

来賓の国土交通省の三沢真総合政策局長は、「皆さんの扱う電気設備は、国民のニーズが高い分野。省エネルギー、地球温暖化防止、ストック利用への対応など、新しいニーズも次々に生まれている」とその役割の大きさを評価した上で、「一層の努力で、国民の期待にこたえてほしい」と訴えた。

業界死守へ一心不乱

鉄骨建設業協会

挨拶する毛利会長

鉄骨建設業協会（毛利哲三会長）の平成15年新年賀詞交歓会が8日、東京都紀尾井町の赤坂プリンスホテルで開かれ、約350人が集まった。毛利会長は「業界は非常に厳しい断崖に立っている。どのように業界を守っていくか、一心不乱になって取り組みたい」と新年の抱負を語った。

一方、賀詞交歓会に出席した国土交通省の松原文雄大臣官房審議官（建設産業担当）は、厳しい経済環境の中での社会資本整備について、「しっかりとした視点を持って取り組めば、良いまちづくり、国づくりができる」と話し、将来のためのインフラ整備の必要性を強調。また、建設業界が大きな転換期を迎えていることについても、「業界も近代化が必要になっている。油断なく取り組めばチャンスがある」と述べた。

最新情報が満載！
入札情報
企業情報
予算情報
建設情報
記事
……etc
必要な情報を必要な時に！
速くて豊富な情報
あなたのネットワークを拡げる
Kiss web
只今 無料体験実施中！
建設情報のトップランナー
Kiss Web
URL http://www.kc-news.co.jp
■お問い合わせ
099-222-6123